

消費生活センターの取組

枕崎市消費生活センター 上妻 瑞紀 消費生活相談員

「訪問販売で高額な健康食品を購入してしまった。」「悪質なサイトで高額請求された。」等、センターには、市民の皆様から数々の相談が寄せられています。また、一度被害にあった方に、「損を取り戻せる。」と追い打ちをかけるようにだます手口も横行しています。

このような消費者トラブルにあわないためには、甘い宣伝文句を信用せず、自分でよく確認し、周りに相談し、勧誘されても必要がなければきっぱりと断ることが大切です。

枕崎市においては、高齢者の方々がこのようなトラブルに巻き込まれないよう、老人クラブの学習会等での出前講座を実施しています。

講座では、実際に送りつけられた架空請求書、利殖商法パンフレット等を見ていただいたり、カルタ取りをしながら消費者トラブルの対策について学んでもらっています。楽しみながら、わかりやすい講座ですので、ぜひ参加してみてください。

各市役所には、消費者トラブルに関する相談窓口として、市消費生活センターが設置してありますので、遠慮なく相談してください。



講義をする上妻相談員(カルタ取り)

「しまった!」「困った!」と思ったら、すぐに相談

(各市役所相談窓口)

枕崎市消費生活センター	☎ 0993-72-1111
指宿市消費生活センター	☎ 0993-22-2334
南さつま市消費生活センター	☎ 0993-53-2111
南九州市消費生活センター	☎ 0993-83-2511

振り込め詐欺等を未然に防ぐ(金融機関の取組)

南九州市川辺郵便局 有馬 隆志さん、生田 幸子さん

近年、金融機関から振り込ませる手口のいわゆる「振り込め詐欺」だけでなく、レターパックや現金書留で送金させる「振り込ませない手口の詐欺」等様々な手口が発生しています。

川辺郵便局において発生した事案は、「投資話で出した損失を取り戻すことができる。弁護士費用が必要。手付け金を現金書留で送金しろ。」というものでした。

窓口が高齢者の方が、現金書留を2通に分けて持参され、宛先も不自然であったため、事情を伺い説得し、南九州警察署に通報して事件を未然に防ぐことができました。

川辺郵便局では、このような事案が、これまで数件発覚しています。

郵便局では、振り込め詐欺等防止のためのチラシ配布や送金時の声かけなどを行っていますので、窓口で遠慮なく相談してください。

郵便局や銀行などの金融機関では、窓口やATMで現金を振り込もうとしている高齢者に声をかけたりして、振り込め詐欺の被害を防いでいます。

- ・「お金が返ってくる」という甘い言葉にだまされないようにしましょう。
- ・レターパックや宅配便で送金を指示するものは、詐欺です。



南九州警察署長から感謝状が贈られた有馬さん、生田さん



振り込み「いっとつ待て」(南九州警察署員による劇団「ちゃちゃちゃ」の寸劇)



南薩地域振興局では、地域の概ね10年後の「将来の姿」やそうなるために 今回は、このビジョンの「挑戦6 心ふれあう安心・安全な地域社会づくり」

地域の安全を守る(防犯ボランティア団体の取組)

南九州市安全・安心守り隊 児玉 高男さん

南九州市では、地域の安全を自分たちで守るために、少年補導員や地域安全モニターが、各地区で活動していましたが、犯罪の未然防止や少年非行防止の効果をあげるため、組織的な活動を図ることとし、平成20年に「南九州市安全・安心守り隊」が結成されました。

隊員55人全員が青パト講習を受講し、25台の自家用車を青パトとして運用しています。

活動は、毎月第三金曜日の夜間及び祭り・イベントの際に警察署と合同の防犯パトロール、街頭における青少年への声かけ、大型商業店舗等での万引きや車上ねらい防止のパトロール、防犯運動の街頭キャンペーン・個別訪問啓発活動への参加などです。

また、高齢者の防犯意識啓発のために、ゴールドクラブ(老人クラブ)会合時に行っている防犯講座では、高齢者の皆さんに、わかりやすく楽しんで学んでもらえるよう、手品を交えたりしながら講義を行っています。

長年、少年補導員をしています。少年非行防止のためには、青少年のことをよく理解し、声をかけることが大切だと感じています。



手品を交えて講義する児玉さん



防犯キャンペーン



出発式に集合した青パト隊

地域の安全を守る(防犯ボランティアの取組)

南さつま市加世田宮原 南 正行さん

防犯に関する活動を行うようになったのは、南さつま警察署と地域住民が地域の治安に関する問題について話し合い、両者が協力して犯罪の抑止を図るための連絡協議会の委員になったことがきっかけで、犯罪や事故防止のため、自主的に地域の見回り活動を行うようになりました。現在は、地域安全モニターとしても活動をしています。

宮原地区は、加世田の郊外であり、「まさかこんな田舎まで泥棒は来ないだろう。」と思っている方が多いためか、外出時に鍵を掛けずに出かける方が多く見受けられます。

以前、私が経験した空き巣事件では、地域の方から「最近不審な人物を見かける。」との話があり、皆さん留守にする家が多い小学校運動会の日地域の見回りをしていたところ、不審者を発見、警察署に通報し、駐車中の不審車両のナンバー等から余罪数百件に及ぶ空き巣事件の犯人検挙につながりました。

空き巣被害に遭わないために、「余分なお金は家には置かない。」「外出時には鍵を掛け近所に声をかける。」「垣根の木を切るなどして家の見通しをよくする。」などが大切です。



平成25年度県犯罪のない安全で安心なまちづくり
県会議防犯功労者表彰を受賞する南さん



小学校での子ども見守り活動



住宅防犯診断
(小学生剣道クラブ員の協力)